

3月28日の夕方18時過ぎに、青森県東方沖でM6.1の地震が発生しました。震源は青森県東方沖でも北海道に近く、苫小牧511,512のデータが3月25日ごろからきれいに減衰—収束してきています。また小樽530には3月4日から8日にかけて上昇する3本の1本立ちが出ていました。しかし、この苫小牧511,512のデータからは、地震の発震のタイミングや震源の位置が苫小牧から近いのでは？という推測はつきませんが、その地震がM6クラスの規模、というのとははっきりせず、M6クラスの地震に対応するようなデータの取れる観測点が必要です。以下の米沢の180日間のデータからは遠方でM6クラスがありそうな気配は感じられますが、やはり北海道、東北の観測点をもっと増やす必要があると考えます。以下、参考まで関連データを載せます。

230328 青森県東方沖 M6.1

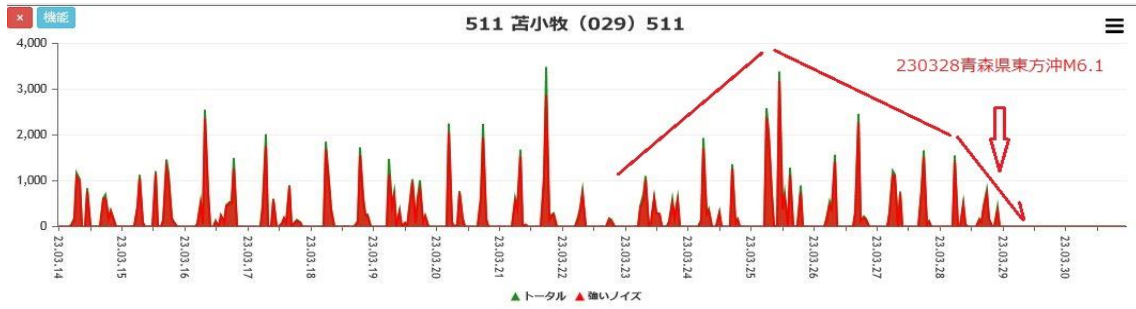


発生時刻	2023年3月28日 18時18分ごろ
震源地	青森県東方沖
最大震度	4
マグニチュード	6.1
深さ	20km

苫小牧 511 90日間データ



苫小牧 511 15日間データ>きれいに減衰している。



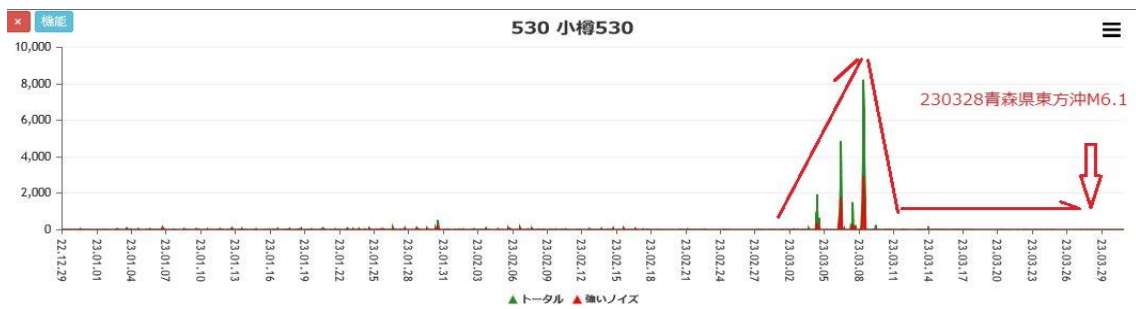
苫小牧 512 90日間データ



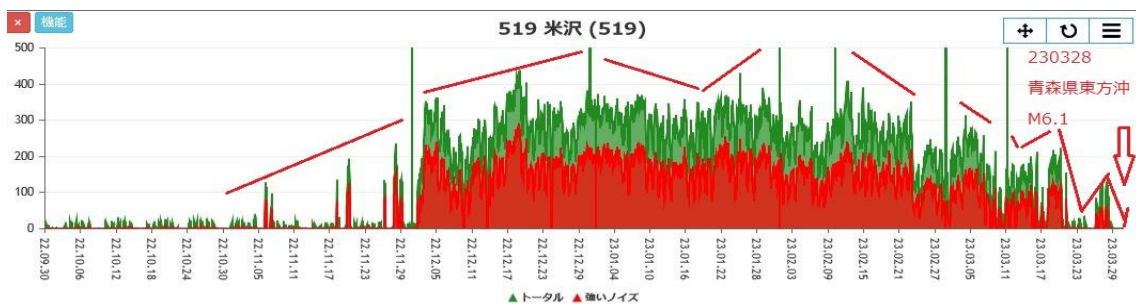
苫小牧 512 15日間データ>こちらもきれいに減衰している。



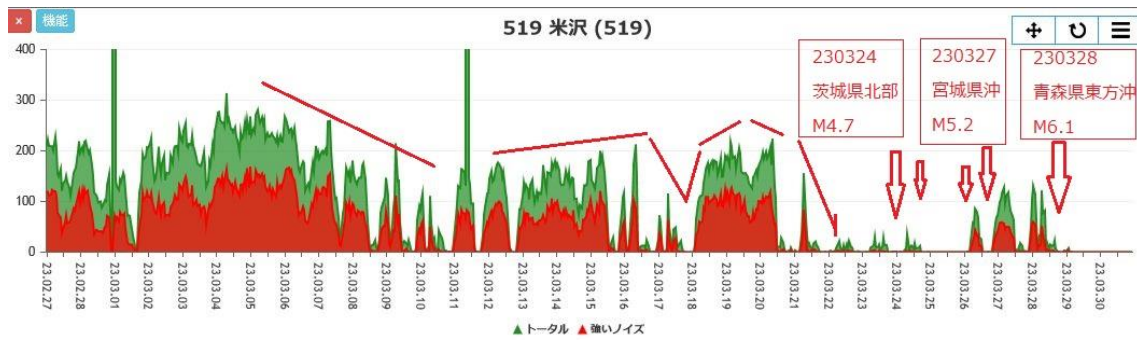
小樽 530 90日間データ



米沢 180日間データ



米沢 30日間データ



位置関係

